

令和5年度から

胃がんリスク検診が始まります！

Q 胃がんリスク検診って何？

A 胃の萎縮度を調べる「**ペプシノゲン検査**」とピロリ菌感染の有無を調べる「**ヘコリバクター・ピロリ菌検査**」の2つの検査結果を組み合わせ、**将来胃がんになりやすいかどうか**を調べる**血液検査**です。



Q 誰でも胃がんリスク検診を受けられますか？

A 年度内年齢で **40・45・50・55・60・65・70 歳の方が対象**で、ゆっくら健康館で行う**住民健診を予約する必要**があります。**自己負担金 600 円で生涯 1 回のみ**受けることができます。



※以下の方は検査結果の判定が困難となってしまうため、受診できません。

- ① 食道・胃・十二指腸に症状がある方もしくは現在治療中の方
- ② 胃酸分泌抑制薬(プロトンポンプインヒビター)服用中の方
- ③ 胃切除後の方
- ④ 腎不全の方
- ⑤ 過去にピロリ菌を除菌したことがある方もしくは現在除菌治療中の方

Q 胃がんリスク検診で精密検査になったらどうしたらよいですか？

A 胃がんリスク検診を行うことで、そのリスクに応じた胃の健康管理をすることが大切ですので、精密検査と判定(下表参照)されたら、**必ず胃内視鏡検査を受けることができる医療機関に受診してください**(町の胃がん検診適用外です)。

		ヘコリバクター・ピロリ菌検査	
		陰性(－)	陽性(＋)
ペプシノゲン検査	陰性(－)	胃粘膜は健康的 胃がん発生頻度は極めて少ない	胃疾患の軽度危険郡 胃がん発生頻度は 1,000 人に 1 人 →胃内視鏡検査を 2～3 年に 1 回 行う
	陽性(＋)	胃疾患の高危険郡 胃がん発生頻度は 80 人に 1 人 →胃内視鏡検査を 1 年に 1 回 行う	胃疾患の中等度危険郡 胃がん発生頻度は 400 人に 1 人 →胃内視鏡検査を 1 年に 1 回 行う

出典：胃がんスクリーニングのハイリスクストラテジーに関する研究（三木一正）

<問い合わせ先> 大洗町 健康増進課 ☎029-266-1010